

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

INFORMATION

- 開館時間 9:00~17:15 (入館は16:45まで)
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日はその翌日)、年末年始(12月28日~1月4日)
- ◆プラネタリウム臨時休演 1月30日(火)~31日(水)、3月6日(火)~8日(木)
- ◆全天周映画臨時休演 1月30日(火)~31日(水)

●入場料

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)
科学展示室	おとな	410円
	子ども (小・中学生、高校生)	100円
プラネタリウム	おとな	410円
	子ども (小・中学生、高校生)	210円
全天周映画	おとな	410円
	子ども (小・中学生、高校生)	210円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	620円
	子ども (小・中学生、高校生)	310円

※幼児(ただし大人の保護者同伴のこと)、65歳以上は無料

【宇宙劇場】

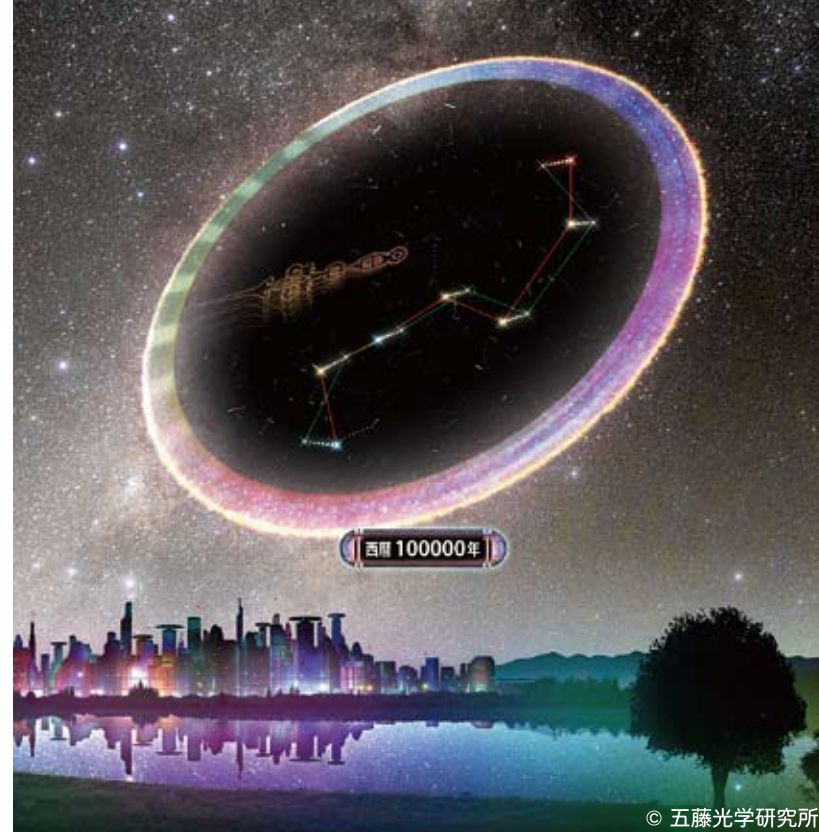
ドーム直径21m、床傾斜25度、200座席。
プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ、
中国地方でも最大級の科学シアターです。



●宇宙劇場投映開始時刻

曜日/時刻	10:30	11:40	12:50	14:00	15:10	16:20
土・日・祝 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム 見上げよう! 未来の星空	全天周映画	プラネタリウム 見上げよう! 未来の星空
火~金	学習投映(学校団体優先) 10:00, 11:10, 13:10			全天周映画 見上げよう! 未来の星空		

- ◆11:40~のプラネタリウムは別プログラムを上映します。
- ◆定員200名、各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
- ◆学習投映は学校団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめ電話にてご予約ください。



© 五藤光学研究所

宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題(今夜の星空解説含む)

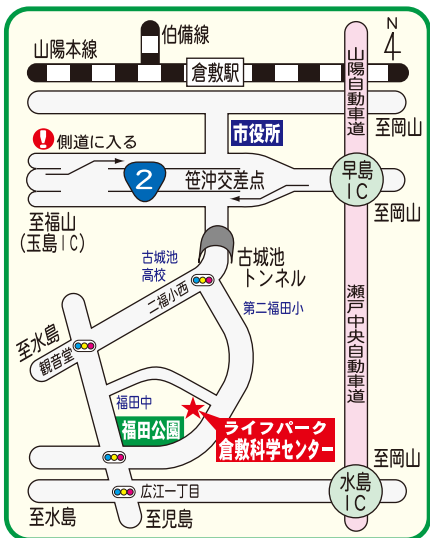
見上げよう! 未来の星空

まんねんご
10万年後にタイムスリップ

Vol.73 2017. 11. 10 ~ 2018. 3. 4

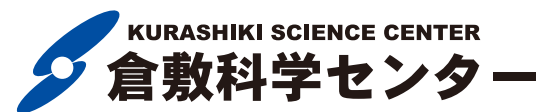
ACCESS

- ◆JR倉敷駅からタクシー 25分
- ◆JR倉敷駅からバス 25分
 - 下電バス
 - ・『大高経由JR児島駅行』
福田中学校前下車・徒歩20分
- ◆国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ◆瀬戸中央自動車道 水島ICから車で15分
(広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)



倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>



「今夜の星空」の解説

天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

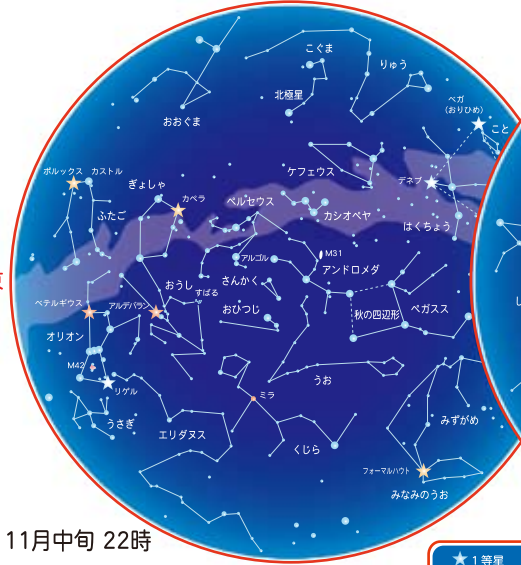
星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より



11-12月の星空

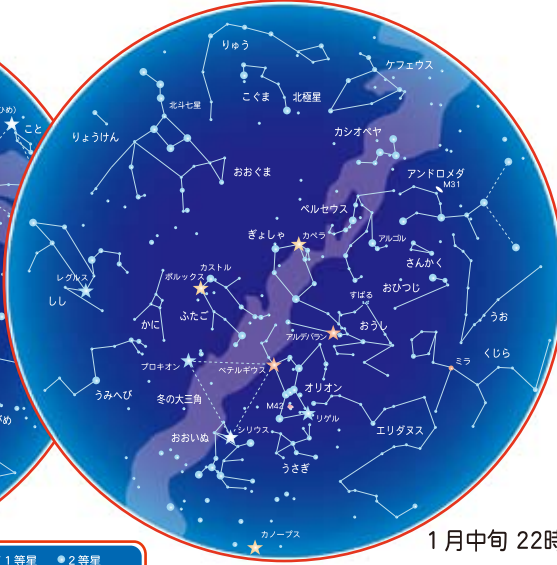
北



11月中旬 22時
12月中旬 20時

1-2月の星空

北



1月中旬 22時
2月中旬 20時

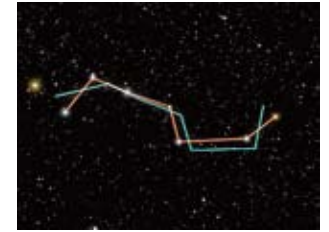
★ 1等星 ● 2等星
● 3等星 ● 4等星以下

見上げよう！未来の星空

10万年後にタイムスリップ

上映期間 / 11月10日(金)~3月4日(日)

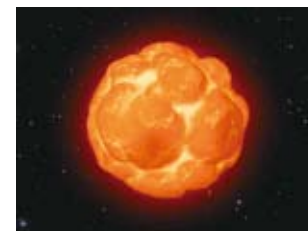
太陽と同じように自ら光り輝く星のことを恒星といいます。「恒」には「いつも変わらない」という意味があり、惑星のような動きを見せない固定された星々ということでした。今から5000年前、夜間に輝く星(恒星)をつないで星座が生まれました。そして今でも星座は使われているので、星空のようには永遠に変わらないように感じます。



(緑)現在の北斗七星
(赤)10万年後の北斗七星

しかし、星座の歴史よりもずっと長い10万年後には、いったいどんな星空が広がっているのでしょうか——星の並び方が変わったり、それまで輝いていた星が見えなくなったりすることがわかってきました。では、なぜ星空のようすが変わるのでしょうか？タイムスリップをして未来の星空を見ながら、なぜを解き明かしていきましょう。

ナレーター 榊原 良子
企 画 公益財団法人 大阪科学振興協会
大阪市立科学館
制 作 株式会社 五藤光学研究所



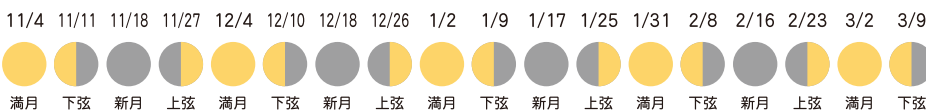
ベテルギウスは爆発間近！？

星は永遠に輝き続けるものではなく、やがて死を迎えます。オリオン座の1等星ベテルギウスは、すでに不安定な状態にあり、じきに「超新星爆発(ちょうしんせいばくはつ)」を起こして一生を終えると考えられています。

観測ガイド

- 12月14日ごろ = ふたご座流星群の活動がピークを迎える。
- 1月 2日 = 2018年中で最も大きな満月が見られる。7月28日の満月より約14%大きい。
- 1月 4日ごろ = しぶんぎ座流星群の活動がピークを迎える。
- 1月 7日 = 明け方の南東の空で、火星と木星が0.2°まで接近。
- 1月31日 = 皆既月食。月食の始まり20:48/皆既の始まり21:51/皆既の終わり23:08/月食の終わり0:11

月の満ち欠け



次回のプラネタリウム新番組は 3/9(金) よりスタートです。